

RDA講習会 第2回

RDA講習会 in 福岡

第2回

RDAをカタログの視点で読む②

属性の記録

NPO法人大学図書館支援機構
蟹瀬智弘

本日のメニュー

1. RDA前半:属性の記録
2. RDA実装のシミュレーション
3. これからの目録の役割

2

1. RDA前半:属性の記録

- 概要:RDAの前半部分である属性の記録について、どの章にどんな事が規定されているかを知る
- 目的:RDAの構造を理解することで、知りたい情報がどこに記されているかを知る
- 特にAACR2と異なる規定については、具体的な規定を確認する
- (NACSIS-CATIにおいてどのように記録するかは、NIIの対応待ち(特に区切り記号や入力フィールド))

3

RDAの規定の特徴

- 目的と原則の明確化
- コア・エレメント
←AACR2では3つの水準
- 区切り記号を指定しない
 - エレメントの独立
 - 入力と表示の分離
 - プロトコルの柔軟性
 - システムの柔軟性
- レコードのメンテナンスに配慮

4

RDAの特徴

裏の

- 同じ言い回しが何度も出てくる

←RDAを読むときは、全体の構成を考えて、今
読んでいる位置を意識する

5

RDAの目次

- Section 1: Recording **Attributes** of Manifestation and Item
 Section 2: Recording **Attributes** of Works
 Section 3: Recording **Attributes** of Persons
 Section 4: Recording **Attributes** of Concepts, Objects, Events, and Places
 Section 5: Recording Primary **Relationships** between Work, Expression, Manifestation, and Item
 Section 6: Recording **Relationships** to Persons, Families, and Corporate Bodies
 Section 7: Recording **Relationships** to Concepts, Objects, Events, and Places
 Section 8: Recording **Relationships** between Works, Expressions, Manifestations, and Items
 Section 9: Recording **Relationships** between Works, Expressions, Manifestations, and Items
 Section 10: Recording **Relationships** between Concepts, Objects, Events, and Places
- 前半:属性**
- 後半:関連**

6

RDA講習会 第2回



前半：属性の記録

- セクション 1: 体現形と個別資料の属性の記録
 - セクション 2: 著作と表現形の属性の記録
 - セクション 3: 個人・家族・団体の属性の記録
 - セクション 4: 概念・物・出来事・場所の属性の記録
- 8

セクション 1: 体現形と個別資料の属性の記録

9

セクション 1: 体現形と個別資料の属性の記録

- 1: 体現形と個別資料の属性の記録総則
 - 2: 体現形と個別資料の同定
 - 3: キャリアの記述
 - 4: 入手とアクセス情報の提供
- 10

1: 体現形と個別資料の属性の記録総則

- 1.0: 適用範囲
 - 1.1: 用語
 - 1.2: 機能的目的と原則
 - 1.3: コア・エレメント
 - 1.4: 言語と文字
 - 1.5: 記述の種類 (書誌単位)
 - 1.6: 新たな記述を必要とする変更 (別書誌作成基準)
- 11

1: 体現形と個別資料の属性の記録総則

- 1.7: 転記
 - 1.8: 数字として、あるいは文字として表された数字
 - 1.9: 日付
 - 1.10: 注記
 - 1.11: 複製と復刻
- 12

RDA講習会 第2回

1: 表現形と個別資料の属性の記録総則

1.2: 機能的目的と原則

目的: 表現形または個別資料を記述したデータは、利用者にとって次の事を可能にするものである

- a) 利用者の指定した検索内容に一致する表現形と個別資料を**発見**する
- b) 記述された資源を**同定**する(すなわち、記述された資源が検索した資源と一致する事を確認する、もしくは同じか似たような性質の複数の資源を区別する)
- c) 資料が収められているキャリアの物理的な形態の特徴や、フォーマットやエンコードについて、利用者の要求に合致する資源を**選択**する
- d) 資源を**入手**する(すなわち、購入する、借りる等の方法によ¹³り資源を入手する、もしくはオンライン資源にアクセスする)

1: 表現形と個別資料の属性の記録総則

そのために、

原則: 次の原則が適用される

- **識別**: データは記述された資源と他の資源とを区別するために役に立つものでなければならない
- **十分**: データは、利用者が特定の資源を選択する際の需要に十分に応えるものでなければならない
- **representation**: データはその資源そのものの様子(representation)を反映したものでなければならない
- **正確**: データは、資源の一部である情報源にある、曖昧な、わかりにくい、誤解を招く表現を修正し明確にするための補足的な情報を提供しなければならない

14

1: 表現形と個別資料の属性の記録総則

- **普通の言葉遣い**: 資源そのものから転記するのではないデータは、普通の言葉遣い(common usage)を考慮したものでなければならない
- 情報源からのデータの転記は、そのデータが資源そのものを反映するものである事を確実にする
- 転記はまたしばしばある資源を他の資源から区別する手段としても機能する

15

1: 表現形と個別資料の属性の記録総則

1.3 コア・エレメント

- 固有のタイトル
- 固有のタイトルに対する責任表示
- 版指示、版の詳細改訂指示
- 継続資料の初号の番号
- " 終号の番号
- 制作年(非出版物)
- 出版地、出版者、出版年
 - なければ発売地、発売者、発売年
 - なければ製作地、製作者、著作権年
 - 著作権年がなければ製作年

16

1: 表現形と個別資料の属性の記録総則

1.3 コア・エレメント

- シリーズの固有のタイトル、番号、サブシリーズの固有のタイトルと番号
- 表現形のID
- キャリア種別
- 数量

17

1: 表現形と個別資料の属性の記録総則

1.7 転記

- 1.7.2 大文字使用法
 - 付録Aによる
- 1.7.3 句読点
 - 情報源にあるまま
 - ...and then there were none
 - 別エレメントに該当するものの間の区切りは無視
 - 必要であれば補う(改行など)
 - Travaillez mieux, vivez mieux
 - ← Travaillez mieux
 - vivez mieux

18

RDA講習会 第2回

1: 体现形と個別資料の属性の記録総則

1.7 転記

- 1.7.4 発音符号
 - アクセント符号のような発音符号は情報源にあるままに転記する
 - 任意規定: 情報源にない発音符号を正書法に基づいて追加する

19

1: 体现形と個別資料の属性の記録総則

1.7 転記

- 1.7.6 イニシャルと頭文字のスペース
 - ピリオドがあってもなくてもスペースは詰める
 - ALA rules for filing catalog cards
 - T.U.E.I. occasional papers in industrial relations
 - edited by P.C. Wason and P.N. Johnson-Laird

20

1: 体现形と個別資料の属性の記録総則

1.7 転記

- 1.7.9 誤記
 - 転記エレメントでは、表示のまま転記する
 - The world of television
 - A comprehensive law book on proceedings under every statute/ordinance with up-to-date case law by superior courts
 - 同定やアクセスに必要であれば修正して注記する

21

1: 体现形と個別資料の属性の記録総則

1.8 数字として、あるいは文字として表わされた数

- 連続ものの巻号
 - 出版年等、著作権年
 - 学位授与年
- については、目録作成機関が選択した数字で記録する
- tome 3 ← tome III
 - 文字として表わされた数は数字に置き換える

22

1: 体现形と個別資料の属性の記録総則

• 1.8.5 序数詞

- 英語: 1st, 2nd, 3rd, 4th, etc.
- 日中韓: 序数詞である事を表わす語を添える
 - 第8 (中国語)

23

1: 体现形と個別資料の属性の記録総則

1.9 日付

- 出版年等について、補記する場合の規定
- 例から“ca.” “-” がなくなった
 - ← AACR2: [ca. 1960]
 - [197-]
 - [between 1400 and 1600?]
- between
 - 「20年以内」という制限がなくなった
 - [between August 12, 1899 and March 2, 1900]

24

2: 体现形と個別資料の同定

- 2.0: 目的と範囲
- 2.1: 資料同定の基礎
- 2.2: 情報源

25

2: 体现形と個別資料の同定

体现形の属性

- 2.3: タイトル
- 2.4: 責任表示
- 2.5: 版表示
- 2.6: 継続資料の番号

26

2: 体现形と個別資料の同定

体现形の属性(続)

- 2.7: 制作表示 (Production Statement)
- 2.8: 出版表示 (Publication Statement)
- 2.9: 発売表示 (Distribution Statement)
- 2.10: 製作表示 (Manufacture Statement)
- 2.11: 著作権年 (Copyright Date)

27

2: 体现形と個別資料の同定

体现形の属性(続)

- 2.12: シリーズ表示
- 2.13: 発行形態 (Mode of Issuance)
- 2.14: 頻度 (Frequency)
- 2.15: 体现形のID (Identifier for the Manifestation)
- 2.16: 引用形 (Preferred Citation)

28

2: 体现形と個別資料の同定

個別資料の属性

- 2.17: 所有者 (Custodial History of Item)
- 2.18: 資料を入手した直接の出所 (Immediate Source of Acquisition of Item)
- 2.19: 個別資料のID
- 注記
- 2.20: 体现形もしくは個別資料の注記

29

2: 体现形と個別資料の同定

2.4 責任表示

- 2.4.1.4 責任表示の記録
 - 責任表示には名前でも接続詞でもないものを含む
 - 選択的省略 (Optional Omission)
 - Charles F. Hoban, Jr.
 - ← 情報源: Charles F. Hoban, Jr., Special Assistant, Division of Visual Education, Philadelphia Public Schools

30

2: 体现形と個別資料の同定

2.4 責任表示

- 2.4.1.5 複数あるとき
 - 集団名・団体名と、集団・団体のメンバーが挙げられている場合は、メンバーを省略する。重要と考えられる場合は、演奏者、語り手、司会者 (presenter) として記録する
 - 選択的省略: 同じ役割が4人以上ある場合は、先頭の1名だけを記録して他は省略する。省略した内容を簡略に示す
 - Roger Colbourne [and six others]

31

2: 体现形と個別資料の同定

2.5 版表示

- 略語は情報源上にある場合のみ
- 2.5.2 版指示 (Designation of Edition)
- 2.5.6 版の詳細改訂指示 (Designation of a Named Revision of an Edition)

版表示 = 版指示 + 版に関わる責任表示 など

32

2: 体现形と個別資料の同定

2.5.2 版指示 (Designation of Edition)

- 1st ed.
- New ed., rev. and enl.
- 1st American ed.
- Rev. ed. 10/2/82
- Abridged
- Version 2.5
- New edition

33

2: 体现形と個別資料の同定

2.5.6 版の詳細改訂指示 (Designation of a Named Revision of an Edition)

- reprinted with corrections
 - ← 版指示: 4th ed.
- new edition, revised, reset, and illustrated
 - ← 版指示: World's classics edition
- 2nd (corr.) impression
 - ← 版指示: 3rd ed.

34

2: 体现形と個別資料の同定

2.7~2.11 出版事項

- 2.7 制作表示 (Production Statement)
- 2.8 出版表示 (Publication Statement)
- 2.9 発売表示 (Distribution Statement)
- 2.10 製作表示 (Manufacture Statement)
- 2.11 著作権年 (Copyright Date)

35

2: 体现形と個別資料の同定

出版事項の記録

- 場所と名称は情報源にあるとおりに記述する
 - ← AACR2: 略語を使用する。名称は簡潔な形にする
- 日付の数字は目録作成機関が選択する形式で記録する
- AACR2にあった、出版等の日付 (date) が年 (year) である、という記述が無くなった
 - 出版年の例として、"May 2000" があるが、月まで記録するという規定も明文化はされていない
- 出版物について、出版地・出版者・出版年はコア・エレメント

36

2: 体現形と個別資料の同定

2.7 制作表示 (Production Statement)

- 非出版物の、制作地、制作者、制作年を記録
- 非出版物: 手稿、絵画、彫刻、自前で録音したもの (2.7.1.4)
- 制作年はコア・エレメント

37

2: 体現形と個別資料の同定

2.8 発売表示 (Distribution Statement)

- 出版物の、発売地、発売者、発売年を記録
- 出版地、出版者、出版年が不明の場合にコア・エレメント
- 発売の日付
 - 出版の日付と異なっていて、
 - 重要であると考えられる場合に記録する

38

2: 体現形と個別資料の同定

2.10 製作表示 (Manufacture Statement)

- 出版物の、製作地、製作者、製作年を記録
- 出版地・発売地、出版者・発売者、出版年・発売年・著作権年が不明の場合にコア・エレメント
- 記録するのは、
 - 出版者も発売者も不明の場合 (必ず)
 - 出版の日付も発売の日付も不明の場合 (著作権年があれば任意)

39

2: 体現形と個別資料の同定

出版地等の記録

- 情報源にあれば、市、町などの地方名と、州、郡、国名の両方を含める
 - ← AACR2: 規定なし
- 必要であれば前置詞を含める
 - ← AACR2: 活用語尾がなければ除外

40

2: 体現形と個別資料の同定

出版地等 複数あるとき

- 表示順、レイアウト、書体により示された順による
 - ← AACR2: 表示順の先頭
- AACR2(1.4D4. d))の、目録作成機関のある国についての規定は無くなった

41

2: 体現形と個別資料の同定

出版地等 不明の場合

1. 知られている地方名
2. 推定される地方名
3. 知られている国、州、郡
4. 推定される国、州、郡
5. それでも不明の場合
 1. 制作地: Place of production not identified
 2. 出版地: Place of publication not identified
 3. 発売地: Place of distribution not identified
 4. 製作地: Place of manufacture not identified

42

2: 体現形と個別資料の同定

出版者名等 複数あるとき

- 表示順、レイアウト、書体により示された順による

43

2: 体現形と個別資料の同定

出版者名等 不明のとき

- 制作者
 - 資料中に表示がない: producer not identified
- 出版者
 - 資料中に表示がなく、その他の情報源からも同定できない: publisher not identified
- 発売者
 - 資料中に表示がなく、その他の情報源からも同定できない: distributor not identified
- 製作者
 - 資料中に表示がない: manufacturer not identified

44

2: 体現形と個別資料の同定

出版年等 不明で推定できない場合

- 制作の日付: date of production not identified
- 出版の日付: date of publication not identified
- 発売の日付: date of distribution not identified
- 製作の日付: date of manufacture not identified

45

2: 体現形と個別資料の同定

2.11 著作権年 (Copyright Date)

- 出版年とは別のエレメントになった
← AACR2: 出版年と異なる場合に記録 (選択的追加)
- 著作権の日付
- 出版と発売の日付が不明の場合にコア・エレメント
- 情報源: どこからでもよい

46

2: 体現形と個別資料の同定

2.11 著作権年 (Copyright Date)

- ©、ℙ を付ける
 - ©2002
 - ℙ1983
- "copyright"、"phonogram" も可
 - copyright 2005
 - phonogram 1993
- 本文、音、画像などの複数の種別からなる部分について複数の著作権の日付がある時は、同定・選択において重要なものを記録する
- 単一の種別からなり、複数の著作権の日付がある時は、最新のもののみを記録する

47

2: 体現形と個別資料の同定

2.12 シリーズ表示 (Series Statement)

- シリーズタイトル関連情報は、
- シリーズの同定に必要な場合にのみ記録する
 - Title proper of series: English linguistics, 1500–1750
→ a collection of facsimile reprints を記入する
 - Title proper of series: Words
→ their origin, use, and spelling を記入する

48

2: 体现形と個別資料の同定

2.12 シリーズ表示 (Series Statement)

- シリーズタイトルの責任表示は、
- シリーズの同定に必要な場合にのみ記録する
 - Title proper of series: Sämtliche Werke
→ Thomas Mann を記入する
 - Title proper of series: Occasional paper
→ University of Sussex Centre for Continuing Education を記入する

49

2: 体现形と個別資料の同定

2.12 シリーズ表示 (Series Statement)

- new series など
 - 巻号がある場合: シリーズの巻号として扱う (巻号の系列を識別するためのものとする)
 - new series, v. 3
 - 4th series, 30
 - 巻号が無い場合: サブシリーズタイトルとして扱う
 - New series
 - Second series
 - Series 2

50

2: 体现形と個別資料の同定

2.12 シリーズ表示 (Series Statement)

- new series など
 - そのサブシリーズを示す番号がある場合は、その番号を含めてサブシリーズタイトルとする
 - 4, Physics
 - Series D, Geophysical bulletin

51

2: 体现形と個別資料の同定

2.12 シリーズ表示 (Series Statement)

NACSIS-CAT の記述文法で表すと...

Series title <> new series, v. 3

Series title <> 4th series, 30

Series title <> . New series

Series title <> . Second series

Series title <> . Series 2

Series title <> . 4, Physics

Series title <> . Series D, Geophysical bulletin

52

3: キャリアの記述

- 3.0: 目的と範囲
- 3.1: キャリアの記述総則
- 体现形の属性
 - 3.2: メディア種別 (Media Type)
 - 3.3: キャリア種別 (Carrier Type)
 - 3.4: 数量 (Extent)
 - 3.5: 大きさ (Dimensions)

53

3: キャリアの記述

体现形の属性 (続)

- 3.6: 素材 (Base Material)
- 3.7: 画材 (Applied Material)
- 3.8: 台 (Mount)
- 3.9: 製作方法 (Production Method)
- 3.10: 世代 (Generation)
- 3.11: レイアウト (Layout)
- 3.12: 折 (Book Format)
- 3.13: フォント・サイズ (Font Size)

54

RDA講習会 第2回

3: キャリアの記述

体現形の属性(続)

- 3.14: 極性(Polarity)
- 3.15: 縮小率(Reduction Ratio)
- 3.16: 音の特性(Sound Characteristic)
- 3.17: 動画フィルムの投影特性(Projection Characteristic of Motion Picture Film)
- 3.18: ビデオ特性(Video Characteristic)
- 3.19: デジタルファイル特性(Digital File Characteristic)
- 3.20: 装置特性(Equipment or System Requirement) ⁵⁵

3: キャリアの記述

個別資料の属性

- 3.21: 個別資料の特性(Item-Specific Carrier Characteristic)
- NOTES
- 3.22: 体現形または個別資料の注記

56

3: キャリアの記述

- 3.2 メディア種別
 - 資源の内容を見たり再生したり実行したりするために必要とされる機器の一般的種別を表わす分類
- 3.3 キャリア種別
 - 資源の内容を見たり再生したり実行したりするために必要とされる機器の種別と結びついた記録媒体のフォーマットやキャリアの外側(housing)を表わす分類

57

3: キャリアの記述

3.2 メディア種別

メディア種別	使用機器
audio	audiocassette player CD player
computer	computer
unmediated	不要
video	videocassette player DVD player

3: キャリアの記述

3.3 キャリア種別

メディア種別	キャリア種別
audio	audio disc audiocassette
computer	computer disc online resource
unmediated	sheet volume
video	videocassette videodisc

3: キャリアの記述

3.4 数量(Extent)

- 数量とキャリア種別の組み合わせ

例:

- 1 computer disc
- 1 online resource

60

3: キャリアの記述

- 3.4.5 テキストの数量
 - 327 pages
 - 321 leaves
 - 381 columns
 - xvii, 323 pages
 - A-Z pages
 - 93 unnumbered pages
 - approximately 600 pages
 - 1 volume (unpaged)
 - 48 leaves, that is, 96 pages (Numbered leaves with text on both sides)

61

3: キャリアの記述

3.5 大きさ(Dimensions)

• 3.5.1.4.7 マイクロフィッシュ

- フィッシュの高さ × 幅を記録する
11 × 15 cm

← 『英米目録規則 第二版』と同じ

マイクロフィッシュの縦 × 横の長さをセンチメートル単位で記載する。(11.5D3)

3 microfiches ; 10 × 15 cm.

← AACR2(1988 rev.): If the dimensions of a microfiche are other than 10.5 × 14.8 cm., give the height × width in centimetres.

62

マイクロフィッシュの大きさ(AACR2)

11.5D3. マイクロフィッシュ マイクロフィッシュの縦×横の長さをセンチメートル単位で記載する。

3 microfiches ; 10×15 cm.

11.5D3. Microfiches. Give the height × width of a microfiche in centimetres.

3 microfiches ; 10 × 15 cm.

63

4: 入手とアクセス情報の提供

- 4.0: 目的と範囲
- 4.1: 入手とアクセス総則
- 4.2: 入手条件 (Terms of Availability)
- 4.3: 連絡先 (Contact Information)
- 4.4: アクセス制限 (Restrictions on Access)
- 4.5: 使用制限 (Restrictions on Use)
- 4.6: URL (Uniform Resource Locator)

64

セクション 2: 著作と表現形の属性の記録

65

セクション 2: 著作と表現形の属性の記録

- 5: 著作と表現形の属性の記録総則
- 6: 著作と表現形の同定
- 7: 内容の記述 (Describing Content)

66

5: 著作と表現形の属性の記録総則

- 5.0: 適用範囲
- 5.1: 用語
- 5.2: 機能的目的と原則
- 5.3: コア・エレメント
- 5.4: 言語と文字

67

5: 著作と表現形の属性の記録総則

- 5.5: 著作と表現形の典拠形アクセス・ポイント
- 5.6: 著作と表現形のその他のアクセス・ポイント
- 5.7: 同定の状態
- 5.8: 参照した情報源
- 5.9: カタロガー注記 (Cataloguer's Note)

68

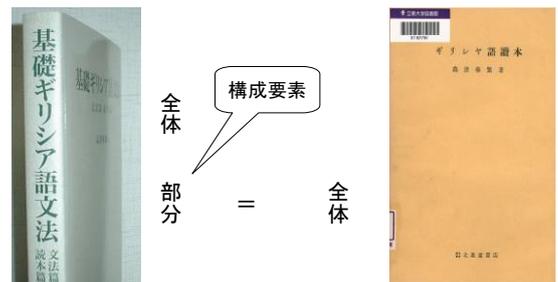
5: 著作と表現形の属性の記録総則

5.1.2 著作と表現形

- 個々の実体だけでなく、実体の集合体や構成要素も含む

69

『基礎ギリシア語文法』と『ギリシア語讀本』



70

全作品 : 実体の集合体 6 : 個々の実体



71

5: 著作と表現形の属性の記録総則

5.1.3 タイトル

- 著作のタイトル
 - その著作が知られている、単語、文字、単語のグループ、および/もしくは文字列
- 著作の選定タイトル (Preferred title for the work)
 - 典拠形アクセス・ポイントとして選ばれたタイトル
- 著作のその他のタイトル
 - その著作が知られている、著作の選定タイトルとは異なるタイトル

72

RDA講習会 第2回

5: 著作と表現形の属性の記録総則

5.1.4 アクセス・ポイント

- アクセス・ポイント
 - 特定の著作や表現形を表わす名称、語句、コードなど
- 典拠形アクセス・ポイント
 - 標準化されたアクセス・ポイント
 - その著作に責任のある個人・家族・団体の後ろに著作の選定タイトルを続けて構成する
- その他のアクセス・ポイント
 - 典拠形アクセス・ポイント以外の形
 - その著作に責任のある個人・家族・団体の後ろに著作のその他のタイトルを続けて構成する

73

5: 著作と表現形の属性の記録総則

5.2: 機能的目的と原則

目的: 著作と表現形の属性を記録したデータは、利用者に次の事がらを可能にするものでなければならない

- a) 利用者が探し求めるものに一致する著作と表現形を発見する
- b) そのデータが示す著作または表現形を同定する(すなわち、データが示す著作または表現形が探しているものである事を確認する、あるいは同じか似たようなタイトルの複数の著作または表現形を区別する)
- c) その著作を表わすものとして使用されるタイトルと、その著作が知られている他のタイトルとの関係を理解する(例えば、そのタイトルの別の言語の形)
- d) なぜ特定のタイトルが選定タイトルとして、あるいはその他のタイトルとして記録されたのかを理解する
- e) 形式や視聴対象者、言語などについて、利用者の要求に合致する著作や表現形を選択する

5: 著作と表現形の属性の記録総則

そのために、

原則:

- データはそれが表現する著作または表現形を他のものから識別するのに役立つなければならない
- 著作の選定タイトルとして示されたタイトルは、
 1. そのオリジナル言語で具体化される資源に最も頻繁に見出されるもの
 2. 参考資料に見出されるタイトル
 3. その著作が具体化される資源に最も頻繁に見出されるタイトル

その著作が具体化された資源や参考資料に見出される他のタイトル、または利用者が検索するであろうと考えられるタイトルは、その他のタイトルとして記録する

6: 著作と表現形の同定

- 6.0: 目的と範囲
- 6.1: 著作と表現形の同定総則
- 6.2: 著作のタイトル

76

6: 著作と表現形の同定

著作の他の属性

- 6.3: 著作の形式
- 6.4: 著作の日付
- 6.5: 著作の出所 (Place of Origin of the Work)
- 6.6: 著作の他の特徴
- 6.7: 著作の歴史
- 6.8: 著作のID

77

6: 著作と表現形の同定

表現形のその他の属性

- 6.9 : コンテンツ・タイプ
- 6.10: 表現形の日付
- 6.11: 表現形の言語
- 6.12: 表現形の他の特徴(表現形のその他の識別的特徴)
- 6.13: 表現形のID

78

6: 著作と表現形の同定

音楽著作への付加的指示

- 6.14: 音楽著作のタイトル
- 6.15: 演奏手段
- 6.16: 音楽著作の番号表示 (Numeric Designation of a Musical Work)
- 6.17: 調 (Key)
- 6.18: 音楽著作の表現形のその他の識別的特徴

79

6: 著作と表現形の同定

法的著作の付加的な指示

- 6.19: 法的著作のタイトル
- 6.20: 法的著作の日付
- 6.21: 法的著作のその他の識別的特徴
- 6.22: 条約の調印、その他 (Signatory to a Treaty, Etc.)

80

6: 著作と表現形の同定

宗教的著作と表現形の付加的な指示

- 6.23: 宗教的著作のタイトル
- 6.24: 宗教的表現形の日付
- 6.25: 宗教的著作のその他の識別的特徴

81

6: 著作と表現形の同定

広報についての付加的な指示

- 6.26: 広報 (Official communication) のタイトル
(内容: Work)

82

6: 著作と表現形の同定

著作と表現形を表わすアクセス・ポイント

- 6.27: 著作と表現形を表わすアクセス・ポイントの構成

83

6: 著作と表現形の同定

…についての付加的な指示

- 6.28: 音楽著作と表現形を表わすアクセス・ポイントの構成
- 6.29: 法的著作と表現形を表わすアクセス・ポイントの構成
- 6.30: 宗教著作と表現形を表わすアクセス・ポイントの構成
- 6.31: 広報を表わすアクセス・ポイントの構成

84

6: 著作と表現形の同定

6.2 著作のタイトル

6.2.1.4 大文字使用法

- 付録A3による

6.2.1.6 アクセント符号 (Diacritical Marks)

- 情報源のまま(無くても補わない)

6.2.1.7 先頭の冠詞 (Initial Articles)

- そのまま

← AACR2: 統一タイトルの場合は原則として削除

85

6: 著作と表現形の同定

6.3 著作の形式 (Form of Work)

- Play
- Tapestry
- Computer file
- Motion picture

6.4 著作の日付 (Date of Work)

- 著作に関連する最初の日付
- 作成された日付、もしくは最初に刊行された日付

86

6: 著作と表現形の同定

6.6 著作のその他の識別的特徴

• Title: Bulletin

- Geological Survey (South Africa)
- New Zealand. Ministry of Education. Research and Statistics Division
- New York State Museum

• Title: Genesis

- Anglo-Saxon poem
- Middle High German poem
- Old Saxon poem

87

6: 著作と表現形の同定

6.9 コンテンツ・タイプ

• コンピューターで読み込むものの例

- computer dataset
- computer program

• 音に関するものの例

- notated music
- performed music
- sounds
- spoken word

88

6: 著作と表現形の同定

6.10 表現形の日付

- 表現形に関連する最も早い日付
- 表現形の最も早い日付を表現形の日付として扱う

89

6: 著作と表現形の同定

6.12.1.3 表現形のその他の特徴の記録

• プーシキン「エフゲニー・オネーギン」の英訳

- Beck ← Tom Beck 訳
- Elton ← Oliver Elton 訳

• 映画「ブレードランナー」

- Director's cut
- Final cut

90

6: 著作と表現形の同定

6.12.1.3 表現形のその他の特徴の記録

- シェークスピア全集
 - Nelson Thornes
 - ← published in 2003 by Nelson Thornes
 - Yale University Press
 - ← published in 2003 by Yale University Press

91

6: 著作と表現形の同定

6.27 著作と表現形のアクセス・ポイントの構成

- その著作の創作に責任のある個人・家族・団体と著作の選定タイトルを組み合わせる
 - Hemingway, Ernest, 1899–1961. Sun also rises
 - John Paul II, Pope, 1920–2005. Speeches

92

7: 内容の記述

- 7.0: 目的と範囲
- 7.1: 内容の記述総則

93

7: 内容の記述

著作の属性

- 7.2: 内容の性質 (Nature of the Content)
 - Field recording of birdsong
- 7.3: 内容の適用範囲 (Coverage of the Content)
 - Based on 1981 statistics
- 7.4: 地図資料の座標 (Coordinates of Cartographic Content)
 - 地図の緯度・経度
- 7.5: 昼夜平分点 (Equinox)
- 7.6: 元期 (Epoch)

94

7: 内容の記述

著作の属性(続)

- 7.7: 対象者 (Intended Audience)
 - For children aged 7–9
- 7.8: 構成のシステム (System of Organization)
 - アーカイブ資料やコレクションの構成
- 7.9: 学位論文 (Dissertation or Thesis Information)

95

7: 内容の記述

表現形の属性

- 7.10: 内容の要約 (Summarization of the Content)
- 7.11: 取得場所と日付 (Place and Date of Capture)
 - 録音、映画制作の場所と年月日
- 7.12: 内容の言語 (Language of the Content)
 - Commentary in English
 - Latin text; parallel English translation
- 7.13: 表記の形式 (Form of Notation)
 - 文字種
 - Devanagari

96

7: 内容の記述

表現形の属性(続)

- 7.14: 利用に関する内容 (Accessibility Content)
 - 知覚障害者のための
- 7.15: 図に関する内容 (Illustrative Content)
- 7.16: 補足的な内容 (Supplementary Content)
 - Includes index
- 7.17: 色に関する内容 (Colour Content)

97

7: 内容の記述

表現形の属性(続)

- 7.18: 音に関する内容 (Sound Content)
 - 動画の音声
 - sound
 - silent
- 7.19: 縦横比 (Aspect Ratio)
 - 動画の幅と高さの比
 - full screen
 - wide screen

98

7: 内容の記述

表現形の属性(続)

- 7.20: 楽譜の形式 (Format of Notated Music)
 - score
 - condensed score
- 7.21: 音楽の演奏手段 (Medium of Performance of Musical Content)
 - For unaccompanied child's voice
 - Reduction for clarinet and piano
 - Part for piano only
 - SA

99

7: 内容の記述

表現形の属性(続)

- 7.22: 時間 (Duration)
 - 演奏時間など
- 7.23: 演奏者、語り手、司会者 (Performer, Narrator, and/or Presenter)
 - Genevieve Warner, Lois Hunt, sopranos; Columbia Chamber Orchestra, Lehman Engel, conductor
 - Piano: Joshua Rifkin
- 7.24: 芸術的・技術的役割表示 (Artistic and/or Technical Credit)
 - Producer, Richard Mohr; recording engineer, Lewis Layton

100

7: 内容の記述

表現形の属性(続)

- 7.25: 縮尺 (Scale)
 - 地図などの縮尺
- 7.26: 地図の投影法 (Projection of Cartographic Content)
 - conic equidistant projection (正距円錐図法)
- 7.27: 地図のその他の詳細 (Other Details of Cartographic Content)
- 7.28: 賞 (Award)
- 7.29: 表現形の注記 (Note on Expression)

101

7: 内容の記述

7.9: 学位論文

- 学位、組織や学部の名称、学位授与年を記録する
 - 7.9.2 学位 (Academic Degree)
 - Ph.D.
 - Doctoral
 - 7.9.3 授与機関 (Granting Institution or Faculty)
 - University of Toronto
 - 7.9.4 授与年 (Year Degree Granted)
 - 2004
- ←AACR2: Thesis (Ph.D.)--University of Toronto, 1974

102

7: 内容の記述

7.15 図

- 図がある場合
 - illustration
 - illustrations
 - 文字や数字だけの表は図ではない
 - 図のあるタイトルページや小さな図は無視する
- 図の種類を記録するのは別法
 - AACR2 (1998 rev.-) と同じ
 - 1988 rev.までは図の種類を記録した

103

7: 内容の記述

7.15 図

別法

- Illustration や illustrations の代わりに／に加えて、図の種類を記録する
(青字はRDAで追加になったもの。charts は1978からの復活)
- charts, coats of arms, facsimiles, forms,
- genealogical tables, graphs, illuminations, maps,
- music, photographs, plans, portraits, samples

104

7: 内容の記述

7.29 表現形の注記

- Volumes 1-3 in French, volumes 4-7 in German.
- Volumes 3-5 lack illustrations.
- Volumes 1, 4, and 8 lack indexes.
- In French and English, 2002-2009
(←現在はフランス語だけになっているウェブサイト)

105

セクション 3: 個人・家族・団体の属性の記録

106

セクション 3: 個人・家族・団体の属性の記録

- 8: 個人・家族・団体の属性の記録総則
- 9: 個人の同定
- 10: 家族の同定
- 11: 団体の同定

107

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

- 8.0: 適用範囲
- 8.1: 用語
- 8.2: 機能的目的と原則
- 8.3: コア・エレメント
- 8.4: 言語と文字
- 8.5: 名称の記録総則
- 8.6: 個人・家族・団体の典拠形アクセス・ポイント
- 8.7: 個人・家族・団体のその他のアクセス・ポイント

108

RDA講習会 第2回

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

- 8.8: 使用範囲
- 8.9: 使用期間
- 8.10: 同定の状態
- 8.11: 未区分名称標識 (Undifferentiated Name Indicator)
- 8.12: 参照した情報源
- 8.13: カタログー注記

109

9: 個人の同定

- 9.0: 目的と範囲
- 9.1: 個人の同定総則
- 9.2: 個人の名前
- 9.3: 個人に関する日付
- 9.4: 個人の称号 (Title of the Person)
- 9.5: 名前の完全形 (Fuller Form of Name)
- 9.6: 個人に関するその他の指示子 (Other Designation Associated with the Person)

110

9: 個人の同定

- 9.7: 性 (Gender)
- 9.8: 生誕地
- 9.9: 死去地
- 9.10: 個人に関する国
- 9.11: 居住地 (Place of Residence)
- 9.12: 個人の住所 (Address of the Person)

111

9: 個人の同定

- 9.13: 所属 (Affiliation)
- 9.14: 個人の言語 (Language of the Person)
- 9.15: 個人の活動地 (Field of Activity of the Person)
- 9.16: 職業もしくは仕事 (Profession or Occupation)
- 9.17: 伝記情報 (Biographical Information)
- 9.18: 個人の識別子 (Identifier for the Person)
- 9.19: 個人を表すアクセス・ポイントの構築 (Constructing Access Points to Represent Persons)

112

10: 家族の同定

- 10.0: 目的と範囲
- 10.1: 家族の同定総則
- 10.2: 家族の名称
- 10.3: 家族の種類 (Type of Family)
- 10.4: 家族に関する日付 (Date Associated with the Family)
- 10.5: 家族に関する場所 (Place Associated with the Family)
- 10.6: 家族の著名なメンバー (Prominent Member of the Family)

113

10: 家族の同定

- 10.7: 世襲の称号 (Hereditary Title)
- 10.8: 家族の歴史 (Family History)
- 10.9: 家族のID (Identifier for the Family)
- 10.10: 家族を表わすアクセス・ポイントの構築 (Constructing Access Points to Represent Families)

114

11: 団体の同定

- 11.0: 目的と範囲
- 11.1: 団体の同定総則
- 11.2: 団体の名称
- 11.3: 団体に関わる場所
- 11.4: 団体に関わる日付
- 11.5: 関連する設備 (Associated Institution)
- 11.6: 会議の数字など (Number of a Conference, Etc.)

115

11: 団体の同定

- 11.7: 団体に関するその他の指示子
- 11.8: 団体の言語
- 11.9: 団体の所在地
- 11.10: 団体の活動分野
- 11.11: 団体の歴史
- 11.12: 団体のID
- 11.13: 団体を表わすアクセス・ポイントの構成

116

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.2: 機能的目的と原則

- 検索する
- 同定する
- 他の名前との関係を理解する (別言語の名称など)
- なぜその選定名やその他の名称を選択したかを理解する

117

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.3 コア・エレメント (個人)

- 選定名 (Preferred name for the person)
- 個人の称号 (Title of the person)
- 誕生日 (Date of birth)
- 死去日 (Date of death)
- その他の情報 (Other designation associated with the person)
- 職業または専門分野 (その氏名が人名であると分かりにくい場合) (Profession or occupation (for a person whose name consists of a phrase or appellation not conveying the idea of a person))
- 個人のID (Identifier for the person)

118

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.3 コア・エレメント (個人)

他と区別するために

- 氏名の完全形 (Fuller form of name)
- 職業または専門分野 (Profession or occupation)
- 活動期間 (Period of activity of the person)

119

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.3 コア・エレメント (家族)

- 家族の選定名称 (Preferred name for the family)
- 家族のタイプ (Type of family)
- 家族に関係する日付 (Date associated with the family)
- 家族のID (Identifier for the family)

120

RDA講習会 第2回

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.3 コア・エレメント (家族)

他と区別するために

- 家族に関する場所 (Place associated with the family)
- 家族の著名なメンバー (Prominent member of the family)

121

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.3 コア・エレメント (団体)

- 団体の選定名称 (Preferred name for the corporate body)
- 会議の場所など (Location of conference, etc.)
- 団体に関する日付 (Date associated with the corporate body)
- 関係する団体 (会議などについて、団体名が地域名よりもより同定しやすい場合、もしくは地域名が不明な場合) Associated institution (for conferences, etc., if the institution's name provides better identification than the local place name or if the local place name is unknown or cannot be readily determined)

122

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.3 コア・エレメント (団体)

- 会議の回次など (Number of a conference, etc.)
- 団体に関するその他の情報 (団体名が団体であると分かりにくい場合) (Other designation associated with the corporate body (for a body whose name does not convey the idea of a corporate body))
- 団体のID (Identifier for the corporate body)

123

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.3 コア・エレメント (団体)

他と区別するために

- 本部の場所 (Location of headquarters)
- 関係する団体 (Associated institution)
- 団体に関するその他の名称 (Other designation associated with the corporate body)

124

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.4 言語と文字

- 情報源にある言語と文字で記録する
- 翻字は別法

8.5 名称の記録総則

- 大文字小文字は Appendix A.2 による
- アクセント符号は情報源にあればそのまま
- 省略されている場合は追加する

125

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.5 名前の記録総則

- 個人・家族のイニシャルはスペースを空ける
 - Rowling, J. K.
 - A. Hafiz Anshary A. Z.
 - A. E. I. O. U.
- 略語との間は離す
 - Dr. X
 - Mrs. R. F. D.
 - Flamenville, Mme de

126

RDA講習会 第2回

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.5 名前の記録総則

- 団体名のイニシャルは詰める
 - J.A. Folger and Company
 - B.B.C. Symphony Orchestra
 - ← B. B. C. Symphony Orchestra
 - IEEE
 - ← I E E E

127

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.8: 使用範囲

- Name used in poetry and critical works
 - C. Day Lewis
- Name used in detective novels
 - C. Day Lewis のペンネームである、
Nicholas Blake

128

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.9 使用期間

- 1933–2000
 - Howard Fast という名前の使用期間
- 1960–1986
 - Howard Fast のペンネームである、E.V. Cunningham という名前の使用期間

129

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.10 同定の状態

- fully established
 - 典拠形アクセス・ポイントを設定する情報が十分
- provisional
 - 典拠形アクセス・ポイントを設定する情報が不十分
- preliminary
 - 資料を確認できない記述から情報を記録
(the data is taken from a description without
the resource described in hand)

130

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.11 未区分名称標識 (Undifferentiated Name Indicator)

- 同姓同名との区別が十分でない場合
 - undifferentiated

131

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.12 参照した情報源 (Source Consulted)

- 名前その他の属性を決定する際に使用した情報源
 - Advances in cable-supported bridges, ©2006: back cover (papers presented at the 5th International Cable-Supported Bridge Operators' Conference, held in New York City on August 28–29, 2006)
 - Rodgers, Sam. Opinions of military personnel on sexual minorities in the military, ©2006: PDF title page (Michael D. Palm Center)
 - Her Big book of baby names, ©1982, title page: Sandra Buzbee Bailey

132

RDA講習会 第2回

8: 個人・家族・団体の属性の記録総則

8.13 カタログー注記 (Cataloguer's Note)

- 典拠形アクセス・ポイントを使用したり改訂したりするために有効な注釈
 - French form of forename chosen for authorized access point; works published in U.S. have English form, Isidor
 - Author prefers that Chinese form of name (Li Zhongqing) be used in access points for resources in Chinese and that English form (James Z. Lee) be used for resources in English

← レコードの維持・管理のための情報

133

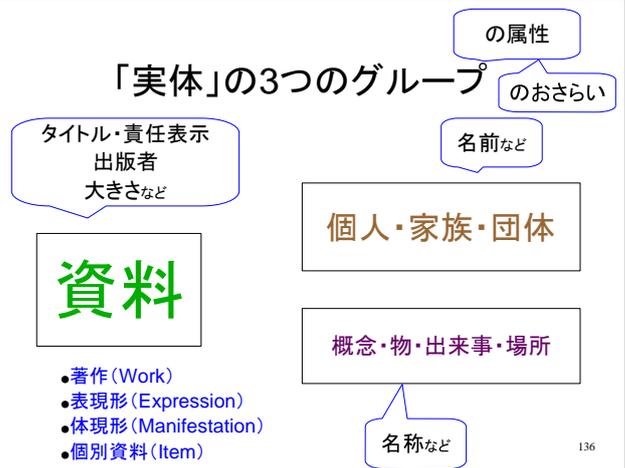
セクション4: 概念・物・出来事・場所の属性の記録

セクション4: 概念・物・出来事・場所の属性の記録

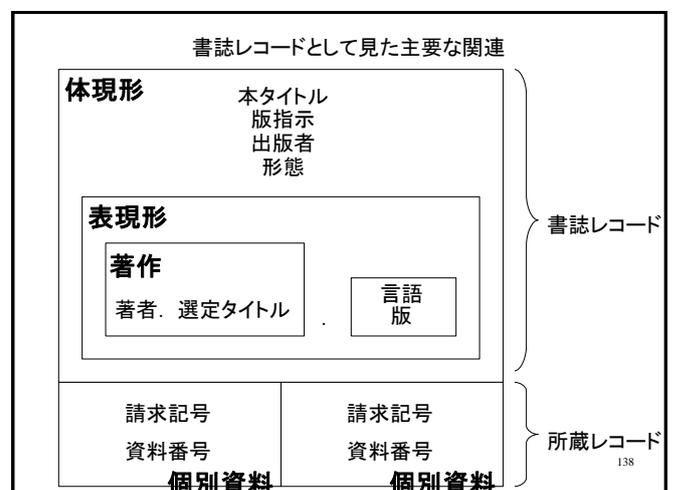
- 12: [概念・物・出来事・場所の属性の記録総則]
- 13: [概念の同定]
- 14: [物の同定]
- 15: [出来事の同定]
- 16: 場所の同定
- 12~15 未刊

135

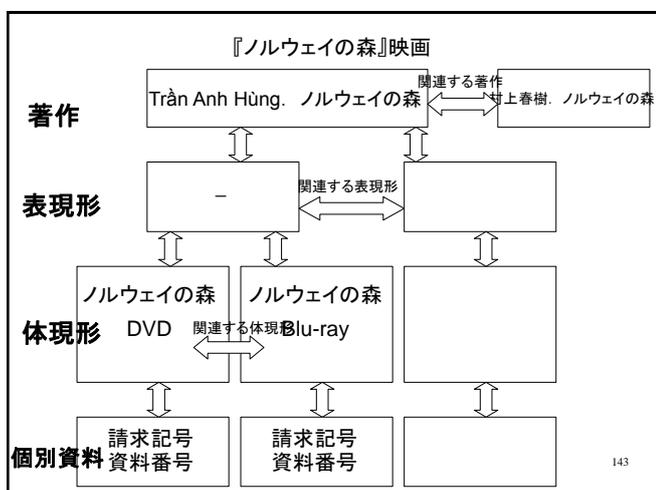
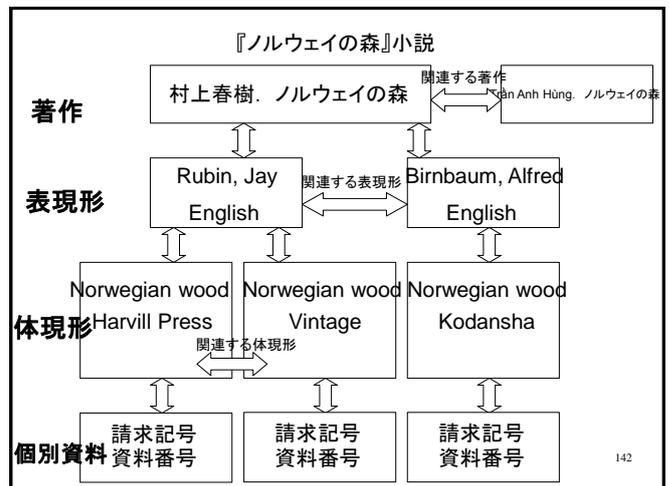
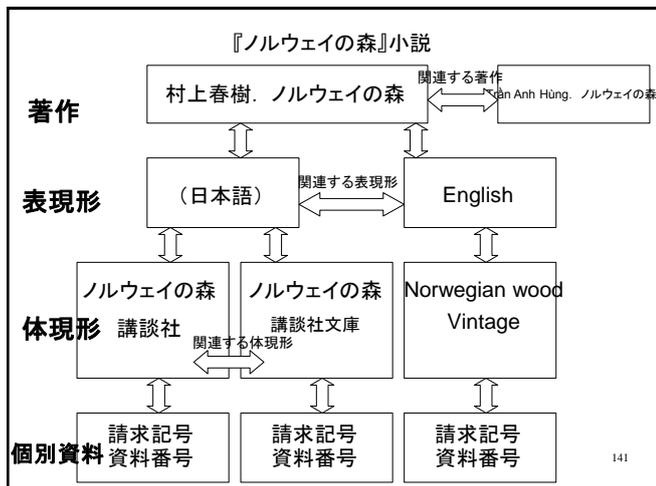
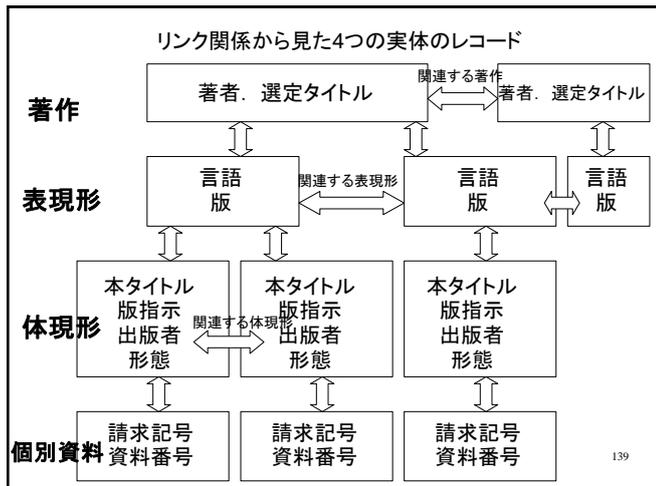
「実体」の3つのグループ



2. RDA実装のシミュレーション



RDA講習会 第2回



3つのシナリオ

- <http://www.rda-jsc.org/docs/5editor2.pdf>
 - ※ RDA 0 Introduction
 - 01. Key Features 脚注

144

レコード記述の具体例

- http://www.rdatoolkit.org/sites/default/files/6jsc_rda_complete_examples_bibliographic_apr0913_rev.pdf

※ <http://www.rdatoolkit.org/> → RDA Examples

→ Examples of MARC RDA record (JSC) – bibliographic records

145

3. これからの目録の役割

- 蔵書目録からアクセスツールへ
- 典拠リンクについて
- 件名、書誌分類について

146

本日のメニュー

の"おさらい"

1. RDA前半:属性の記録
2. RDA実装のシミュレーション
3. これからの目録の役割

147

まとめ

- AACR2
 - 目録カード作成
 - 所蔵目録
- RDA
 - システムやプロトコルに依存しない
 - 情報資源にたどり着くためのツールを作成
 - 利用者のタスクに応える
 - 「関連」の重視

148